

オフシーズンでも野外スポーツ施設の活用を

さわやかな季節になり、野外スポーツが盛んに行われています。

さて、わが大館市にはスポーツ施設が年々整備されており、連日多

くの市民に使われているようです。しかし、そのスポーツ施設は果

して有効に使用されているでしょうか。たとえば「勤めを終えたあ

とに野球をしたいがナイター施設がない」「冬期間野外スポーツ施

設は雪の中」「一流プレーヤーが競技できる施設がない」……多額

の費用をかけて造られたわりには何か物足りない気がしました。今

回の「広報市民レポーターだより」はスポーツ施設について考えてみました。

第2回広報市民レポーターだより



▲長根山陸上競技場を視察する吉田さん（左）と兎沢さん（右）

施設の多目的利用を

市民レポーター

兎沢 君子(白沢)

今回は、体育施設をレポートすることにし、長根山運動公園の陸上競技場、野球場と城西体育館を駆け足で取材しました。これらの施設に入ることの少ない私が長根山運動公園の緑あふれる広い場内に立ったとき、好むと、好まざることにかかわらず、私の学生時代のことかふと頭の中をよぎり、今の幸せを感謝しなければと深く考えさせられました。

市からいただいた資料を見て、体育施設の多いことにびっくりしました。しかしこの中で野外施設が冬期間はまったく使われていないということ、多額な費用をかけた施設なのにもったいない感じがします。そこで、雪を利用したの活用方法はなにかと考えるてみました。長根山を利用してのボブスレー、陸上競技場ではカーリング、プールはスケートリンク転用方法

体育施設と私の夢

市民レポーター

吉田 秀人(水門町)

も考えられるのではないのでしょうか。また、陸上競技場や野球場で感じたことは、食事のつき場所がほしいし、それに幼児用プールにもっと木陰があればと思いました。そのほかには、ナイター設備のある陸上競技場や野球場、全日本クラスのバレーボール大会やバスケット大会ができる大型体育館などの建設を望みます。このことにより、地域スポーツの振興にも役立つのではないのでしょうか。施設の使用方法を、市民みんな

でアイデアを出し合い、フルに活用することができれば、活力ある新しい社会をつくり出すことができるのではないかと思います。今回、いっしょにレポートした吉田さんといろいろ話し合いをしました。吉田さんの「古里を愛する気持ち」や「二十一世紀に向けての子供に託す夢」の話に圧倒されるとともに、このような青年が明日の大館の担い手となることを望みます。

体育施設を見学し、市の担当者からの説明で、数では十分な所まで来た感がありました。また、内容も十分整っているように思われる反面、何か物足りなさを感じ、私なりにその感想を述べてみたいと思います。

「大館には、日本や世界の一流プレーヤーが競技できるような施設が、どれぐらいあるのでしょうか？」

「体育館は、バレーボールの実業団チームを迎えるには少しおそまつな状態だ」と耳にしました。「野球場は太陽がまぶしく、設計の段階で方位を間違えたか、または、野球のしたことのない方が設計したのではないか」という意見も聞きました。「最近造られた施設にしては、ナイター設備がなきのはなぜか」数々の不便な点がみられました。施設の数も大切ですが、子供たち、世界の一流プレーヤーの技

余談になりますが、他では間伐材を利用したトラス（三角形）を造り、大スパン（大きいスペース）の建物も出ています。木都「大館」にそのような建物がみられないのは少し残念に思います。最後に、行政は器を造るだけで仕事が終わったと考えず、施設を一つ造るにも細心の配慮をお願いいたします。

◆「広報市民レポーターだより」は、6人のレポーターが独自に取材した記事を掲載しています。